

①霧ヶ峰のススキ、ニッコウザサ
刈取り区の植生の季節的变化
②ハルザキヤマガラシの駆除に
ついて

霧ヶ峰生物多様性研究会
土田勝義

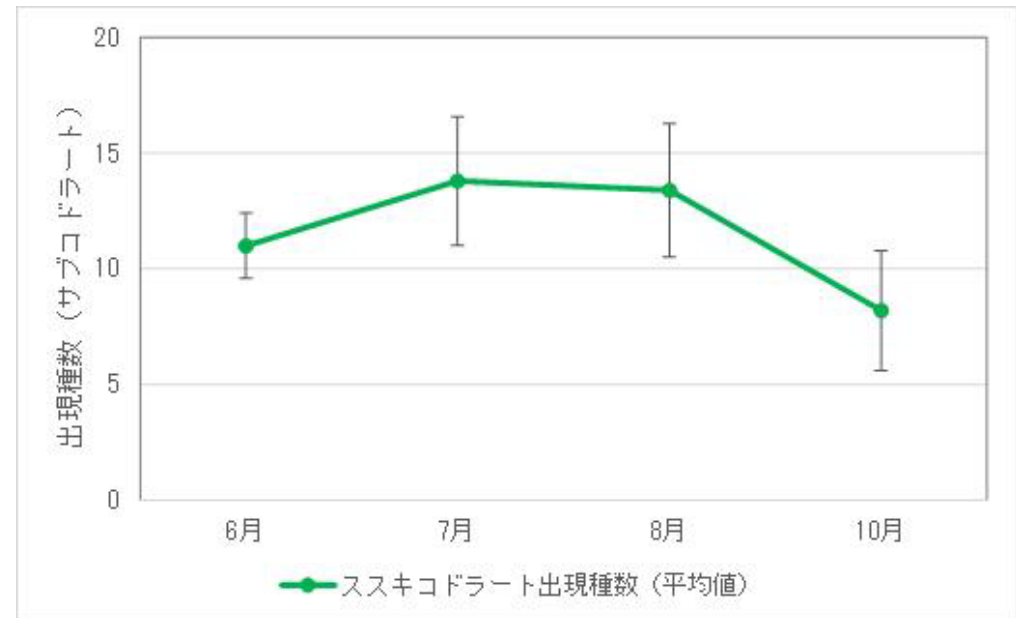
刈取り区調査の場所。⑦ススキ群落 ⑤ニッコウザサ群落



ススキ定置枠の季節的变化

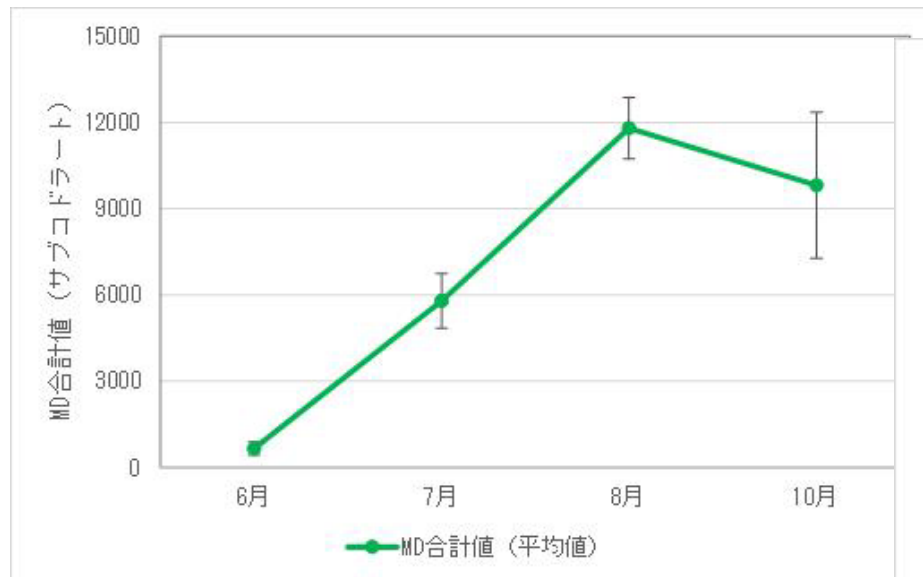
- ・各刈取り区の定置枠数5枠
- ・優占度は乗算優占度 (MD) = 種ごとの高さ × 被度
- ・優占度の合計 ΣMD

ススキ定置枠の平均出現種数の変化

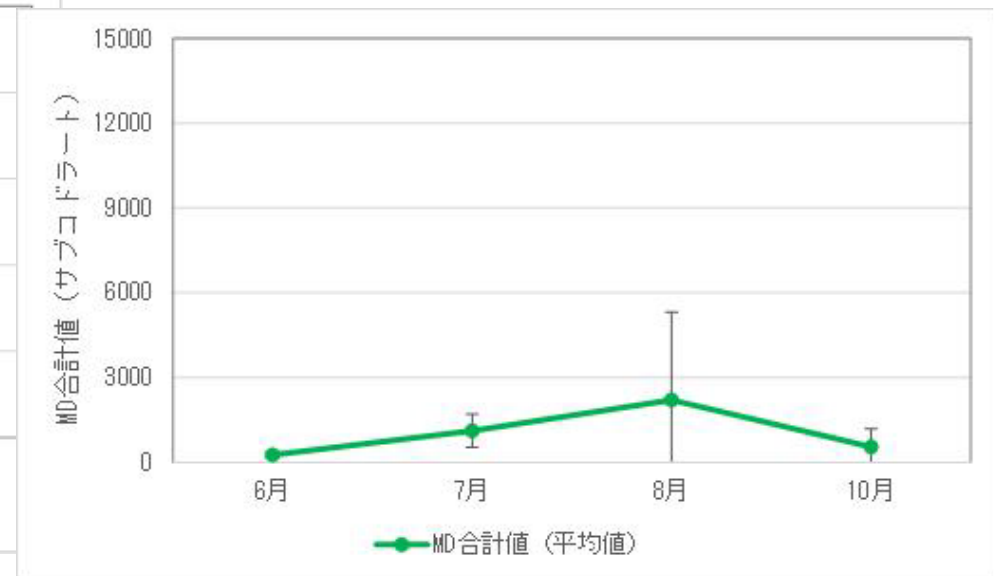


ススキ定置枠の季節的变化

全出現種の優占度 Σ MD
の変化

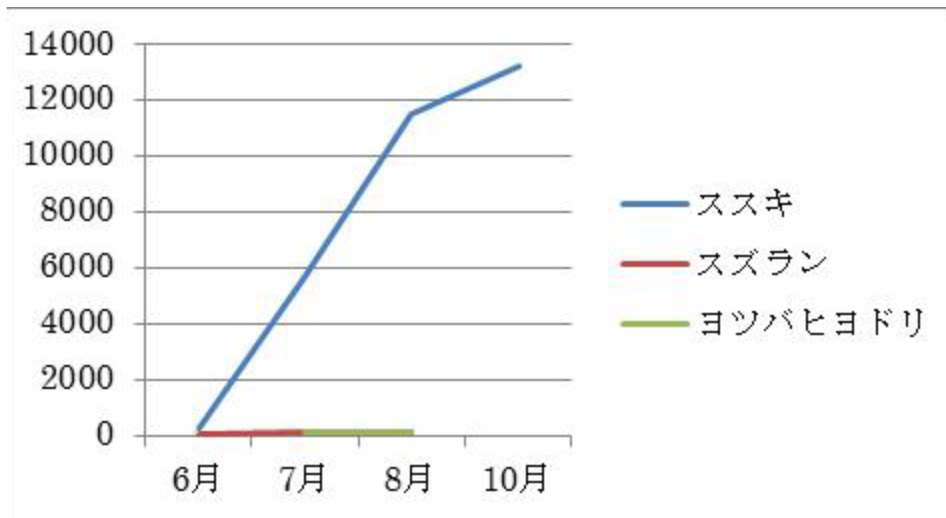


ススキ以外の出現種の
 Σ MDの変化

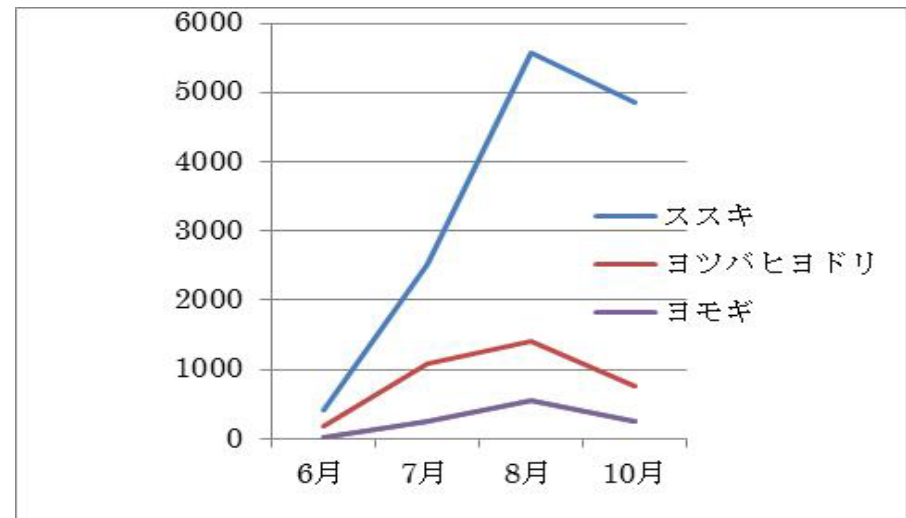


ススキ定置枠の優占度の変化

ススキの優占度が高い定置枠

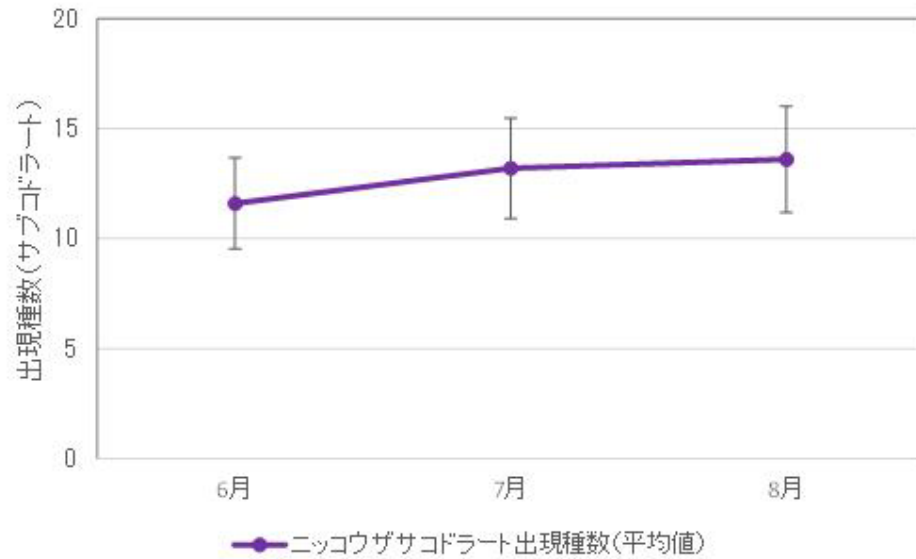


ススキの優占度が低い定置枠

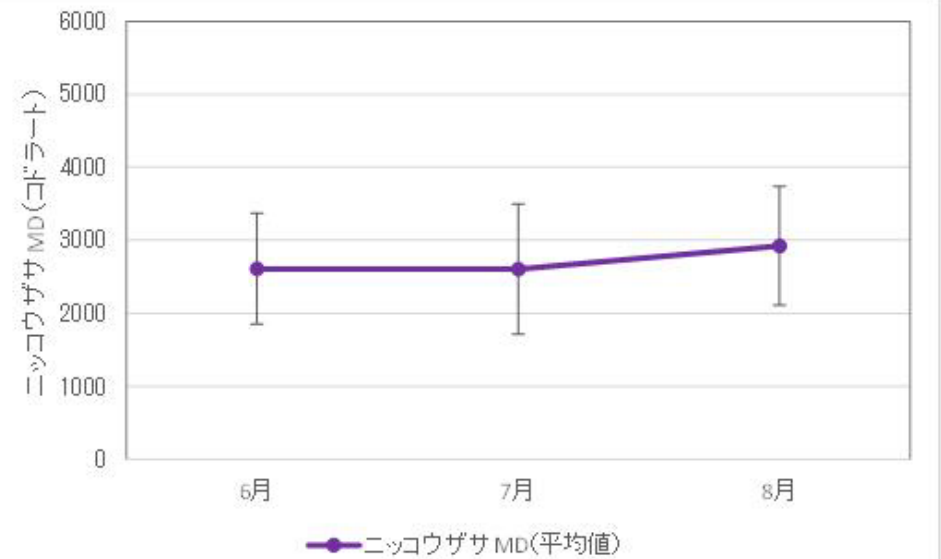


ニッコウザサ定置枠

平均出現種数の変化

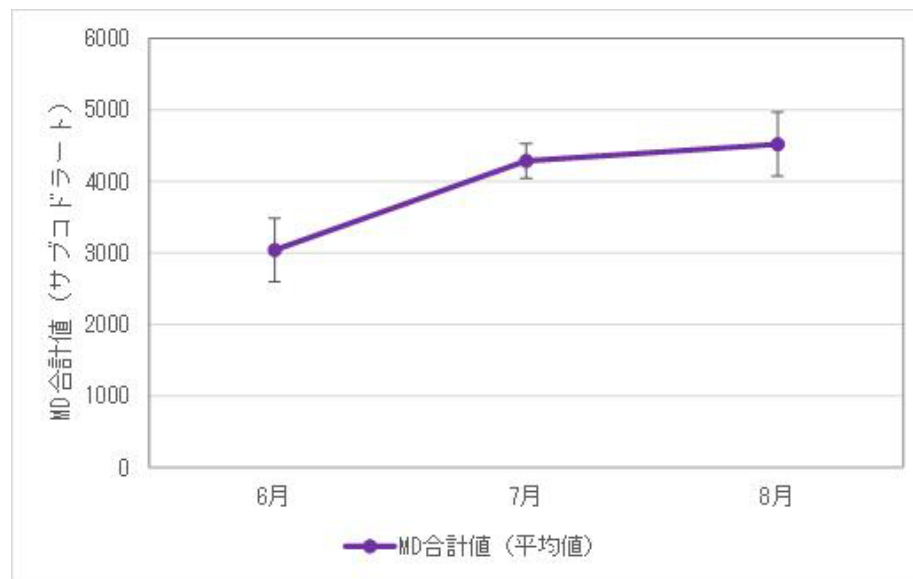


ニッコウザサの優占度の変化

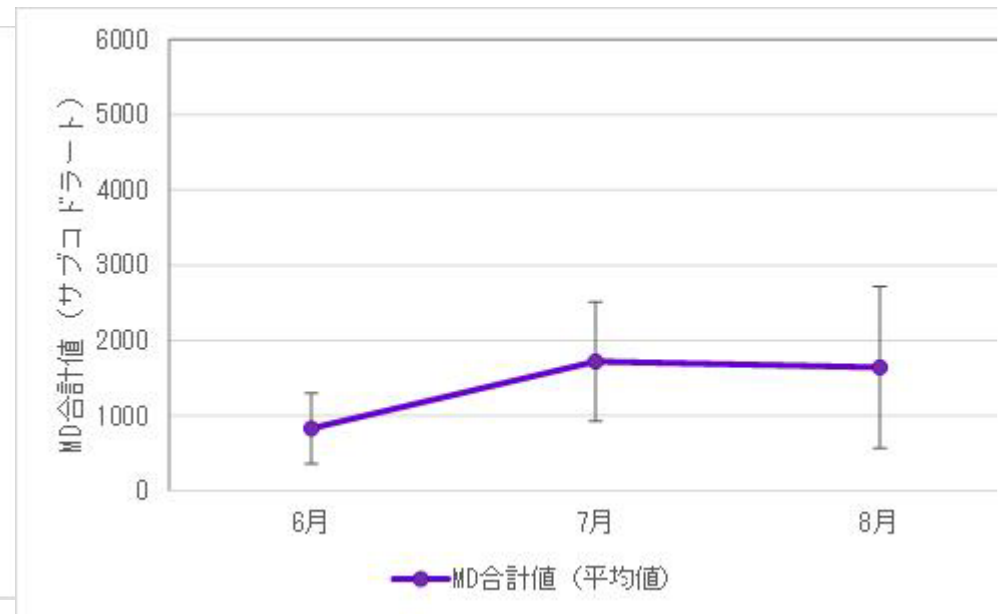


ニッコウザサ定置枠の優占度の変化

定置枠5枠の全出現種の平均
優占度の変化



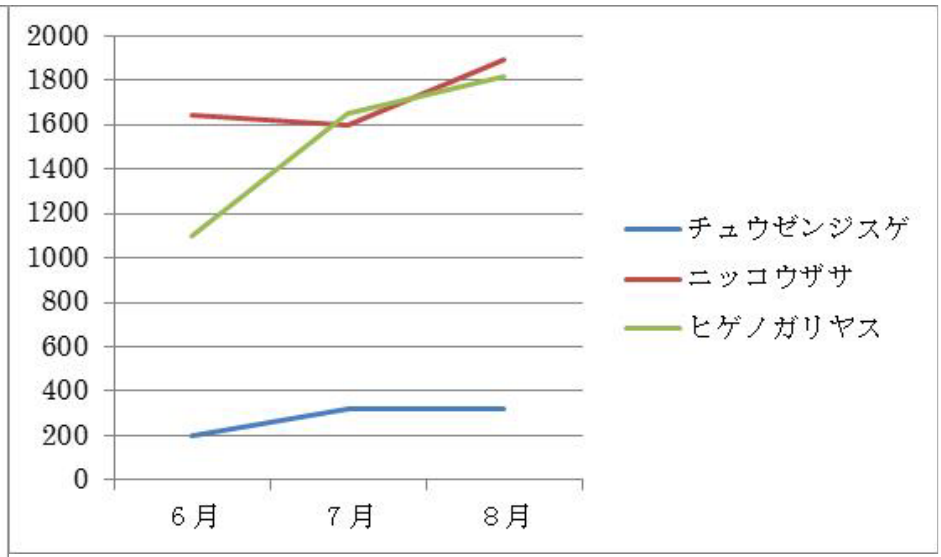
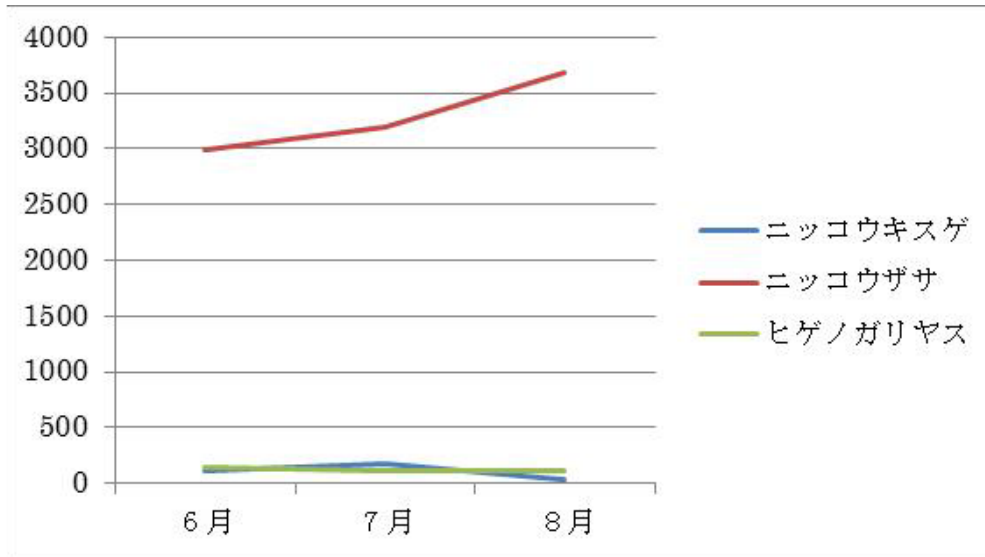
ニッコウザサを除く平均優占
度の変化



ニッコウザサ定置枠の優占度の変化

ニッコウザサの優占度の高い
定置枠

ニッコウザサの優占度月低い
定置枠



期待される効果

ススキ刈取り区

10月21日刈取りは、ほとんどススキは枯れていたが、刈取り、除去により、来年の春季～初夏に地表の日照条件が良くなり、他の植物の生育、生長が高まる。ススキは夏季の栄養分の地下部貯蔵があり、ススキの生長にはあまり影響はない。

ニッコウザサ刈取り区

9月10日の刈取り、除去は、ススキ刈取り区と同様、春季～初夏に他の植物の生育、生長が高まる。やや来年のニッコウザサの生育を抑える。

両区とも刈取り植物、枯草等の除去により、土壤へ栄養分の還元が少なくなるので、長期続ければススキ、ニッコウザサ、樹木類の生長を妨げる。

ハルザキヤマガラシの駆除



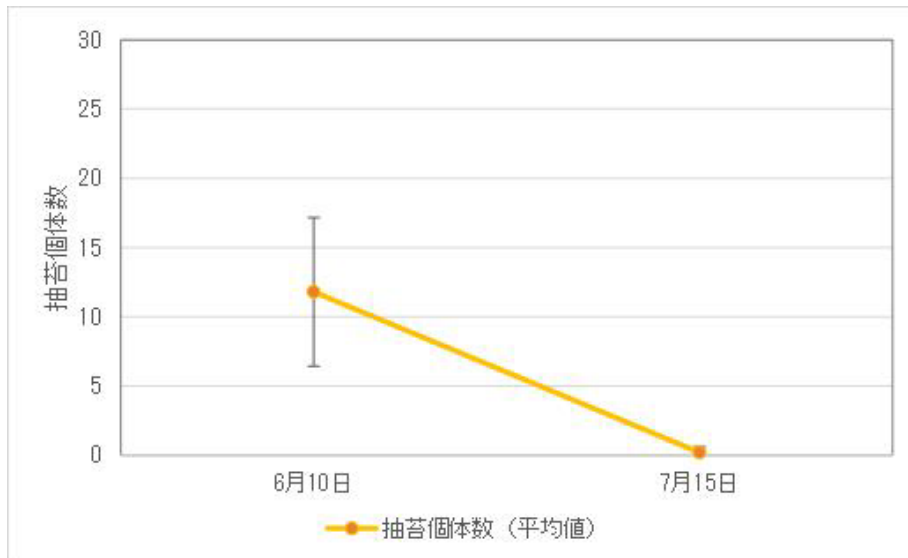
ハルザキヤマガラシの花



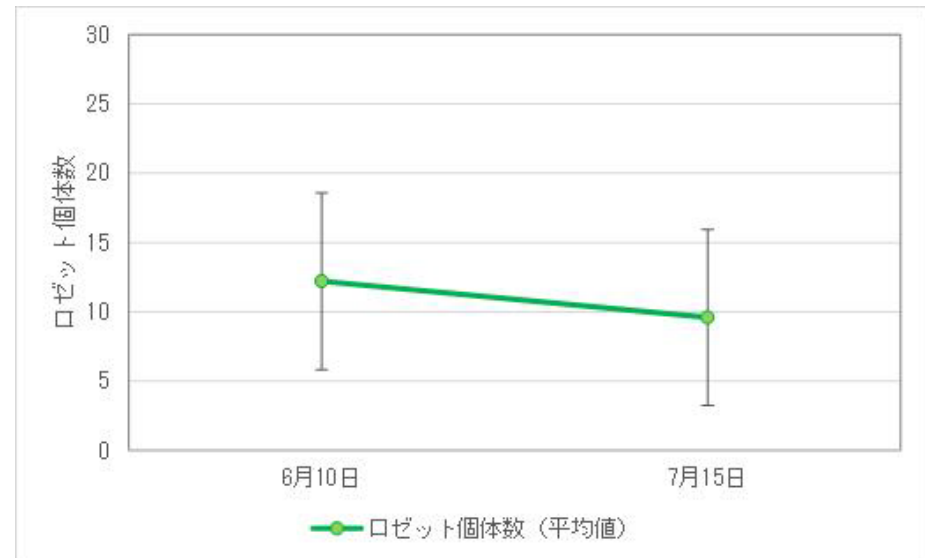
池のくるみ上部のハルザキヤマガラシの群落

定置枠の平均個体数の変化

6月10日～7月15日



抽苔個体数の変化



ロゼット個体数の変化